

三菱電機パッケージエアコン 別売部品

オイルフィルターユニット 使い捨て型オイルフィルター

形名

PAC-CE21・22・23UTB

PAC-CB51・52・53UTB

再生型オイルフィルター

形名

PAC-CE11・12・13UTB

PAC-CB61・62・63UTB

もくじ

安全のために必ず守ること	2
1. 部品	6
2. 取付要領	7
3. その他	11

取付説明書（販売店・工事店様用）


このたびは三菱電機製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。


この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい取付工事が必要です。取付工事の前に、この説明書を必ずお読みください。

- ・ ご使用の前に、この取付説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。この取付説明書は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管し、必要なときお読みください。
- ・ 「取付説明書」は大切に保管してください。
- ・ お客様ご自身では、取付けないでください。（安全や機能の確保ができません。）
- ・ この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り付けてください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。


 **警告** 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度

 **注意** 取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

- 図記号の意味は次のとおりです。



- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

 **警告**
電気配線工事は「第一種電気工事士（工事条件によっては第二種電気工事士）」の資格のある者が行うこと。

一般事項

警告

改造はしないこと。

- 水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

電気部品に水をかけないこと。

- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



ぬれ手禁止

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、関係するユニットすべての主電源を切ること。

- けが・感電のおそれあり。



感電注意

運転中および運転停止直後のペーパーパン本体・ヒーター本体・スプレー本体・冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。

- 低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。



やけど注意

火気を近づけないこと。

- 引火・火災・爆発のおそれあり。



火気禁止

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。

- お買い上げの販売店・お客様相談窓口にご連絡すること。
- 異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。



指示を実行

端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取り付けること。

- ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を実行

⚠ 注意

パネルやガードを外したまま運転しないこと。

- ◆ 回転機器に触れると、巻込まれてけがのおそれあり。
- ◆ 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- ◆ 高温部に触れると、火傷のおそれあり。



使用禁止

運転停止後、すぐにユニットの電源を切らないこと。

- ◆ 運転停止から5分以上待つこと。
- ◆ ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。



禁止

部品端面や熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- ◆ けがのおそれあり。



接触禁止

フィルターを取り外す場合、保護具を身につけること。

- ◆ ホコリが目に入り、けがのおそれあり。



ホコリ注意

作業するときは保護具を身につけること。

- ◆ けがのおそれあり。



けが注意

据付工事をするときに

⚠ 警告

梱包材は廃棄すること。

- ◆ けがのおそれあり。



指示を実行

梱包材は破棄すること。

- ◆ 窒息事故のおそれあり。



指示を実行

販売店または専門業者が取付説明書に従って取り付け工事を行うこと。

- ◆ 冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・故障・火災のおそれあり。



指示を実行

付属品の装着や取り外しを行うこと。

- ◆ 不備がある場合、冷媒が漏れ、酸素欠乏・発煙・発火のおそれあり。



指示を実行

三菱電機指定の部品を使用し、取り付けは販売店または専門業者に依頼すること。

- ◆ 水漏れ・感電・火災のおそれあり。



指示を実行

販売店または専門業者が当社指定の別売品を取り付けること。

- ◆ 不備がある場合、水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



指示を実行

配管工事をするときに

⚠ 警告

現地配管が部品端面に触れないこと。

- ◆ 配管が損傷し、蒸気・温水が漏れ、火傷、水漏れのおそれあり。



指示を実行

電気工事をするときに

⚠ 警告

配線に外力や張力が伝わらないようにすること。

- ◆ 伝わった場合、発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。



発火注意

端子接続部に配線の外力や張力が伝わらないように固定すること。

- ◆ 発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。



発火注意

取り付けをする場合、主電源を切ること。

- ◆ けが・感電のおそれあり。



感電注意

電気工事は第一種電気工事士（工事条件によっては第二種電気工事士）の資格のある者が、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および据付工事説明書に従って行うこと。電気配線には所定の配線を用い専用回路を使用すること。



指示を実行

- ◆電源回路容量不足や施工不備があると、感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

⚠ 注意

配線が冷媒配管・部品端面に触れないこと。



発火注意

- ◆配線が接触した場合、漏電・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。

移設・修理をするときに

⚠ 警告

移設・修理をする場合、販売店または専門業者に依頼すること。分解・改造はしないこと。



禁止

- ◆不備がある場合、冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。

修理をした場合、部品を元通り取り付け

ること。



指示を実行

- ◆不備がある場合、けが・感電・火災のおそれあり。

⚠ 注意

基板に手・工具で触れたり、ほこりを付着させたりしないこと。



接触禁止

- ◆ショート・感電・故障・火災のおそれあり。

お願い

据付・点検・修理をする場合、適切な工具を使用してください。

♦ 工具が適切でない場合、機器損傷のおそれあり。

運転を開始する 12 時間以上前に電源を入れてください。

♦ ユニット運転期間中は電源を切らないこと。故障のおそれあり。

1. 部品

この箱には、この説明書の他に下記部品が入っていますのでご確認ください。

No.	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
部品名	前下パネル	後ろふさぎ板	カバー	パネル取付板	フィルターレール(左)	フィルターレール(右)	オイルパン受け
形状							
個数	1個	1個	1個	1個	1個	1個	1個
No.	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
部品名	オイルパン	オイルフィルター	シール材	ゴムブッシュ	化粧ネジ	ネジ	注意ラベル
形状		※1 					
個数	1個	1個	1個	1個	2個	15個(予備3)	1個

※1 PAC-CE12・13UTB, CB62・63UTBの場合は、枠+フィルター(2分割)のセットとなっています。(下図)

- ・安全のため軍手等保護具を着用のうえ、作業を実施してください。
- ・本体据付前に組み込んでください。

※2 PAC-CB51・52・53・61・62・63UTBの場合、ゴムブッシュ⑪は使用しません。

※3 オイルフィルターは、枠の上部を両手で持ち、ねじらないように取り扱ってください。(下図)

⚠ 注意

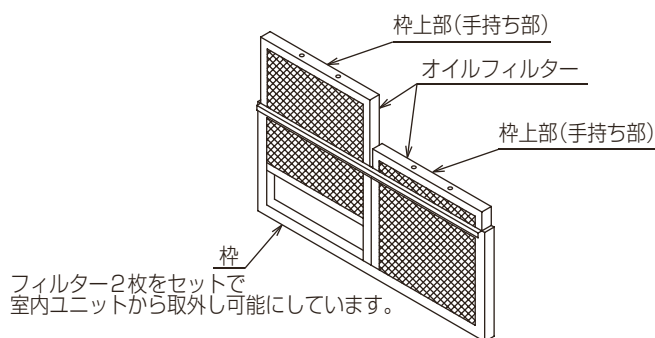
作業するときは保護具を身につけること。

- ・けがのおそれあり。



けが注意

- ・枠を大きくひずませたり、網を持って引っ張らないでください。
網の端面が枠から飛び出すおそれがあります。



2. 取付要領

(1) パネルの取外し・・・図1

- 1) 本体下側の吸込パネルを手前に引いて外してください。
※ストリング（引っ掛け紐）も外してください。
オイルフィルター用前下パネルにも使用しますので失わないでください。
- 2) 図1に示すリモコン配線のコネクターAを抜いてください。
※このコネクターは、必ず抜いてください。抜かずに前上パネルを外すとリモコン配線を破損するおそれがあります。
- 3) 前上パネル固定ネジ2本を外してパネル下側を手前に開き、リモコン配線（コネクターA）を上を引き出してください。
- 4) 前上パネルを上を持ち上げて取外してください。
※外したパネルを地面などに下ろす場合、地面との間に配線やコネクターを挟まないように注意してください。

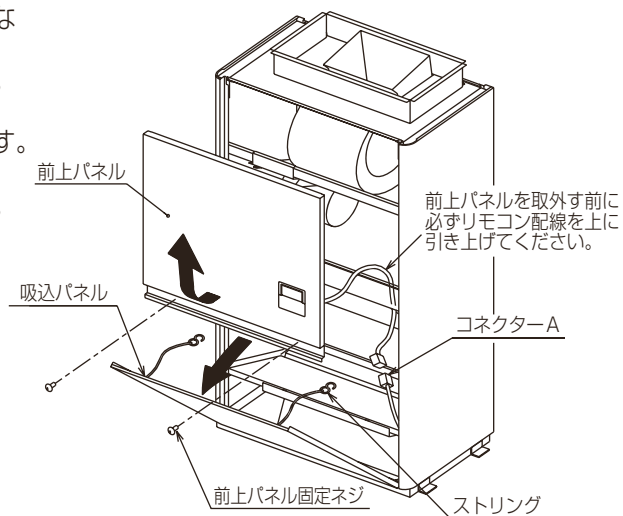


図1

(2) リモコンの取外し、カバーの取付け・・・図2

- 1) 前上パネル後面からリモコン固定ネジを外してリモコンを取外してください。（ネジ2本）
- 2) カバー③をリモコン固定ネジを用いてリモコンが取付いていた状態と同じように取付けてください。（ネジ2本）

油環境下では本体取付けのリモコンを使用することはできません。
リモコンを本体から取外し、油分を含まない環境下に設置する必要があります。
室内ユニット、室外ユニットの据付工事説明書を参照してください。
リモコンを本体から取外したあと、お客様とご相談のうえ取付場所を決めてください。

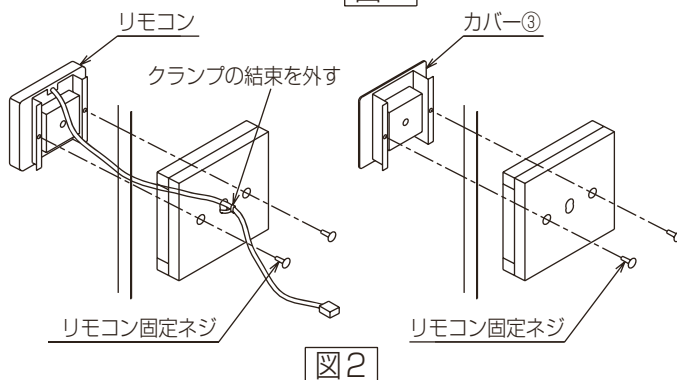
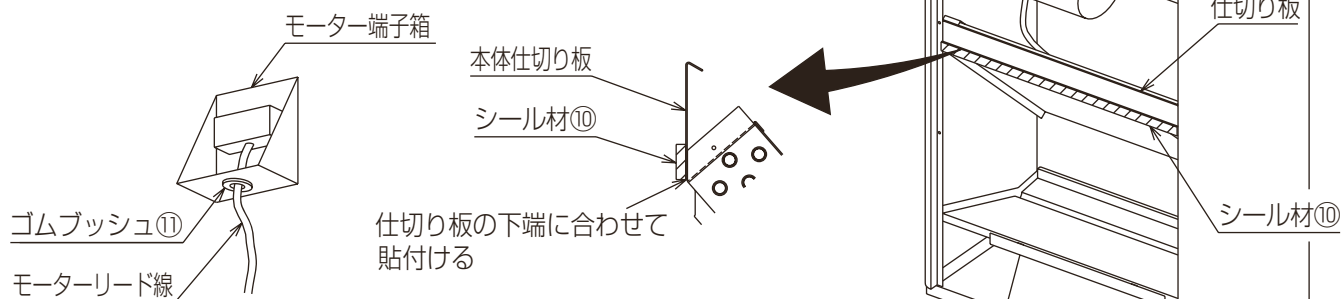


図2

(3) ゴムブッシュ、シール材の取付け・・・図3

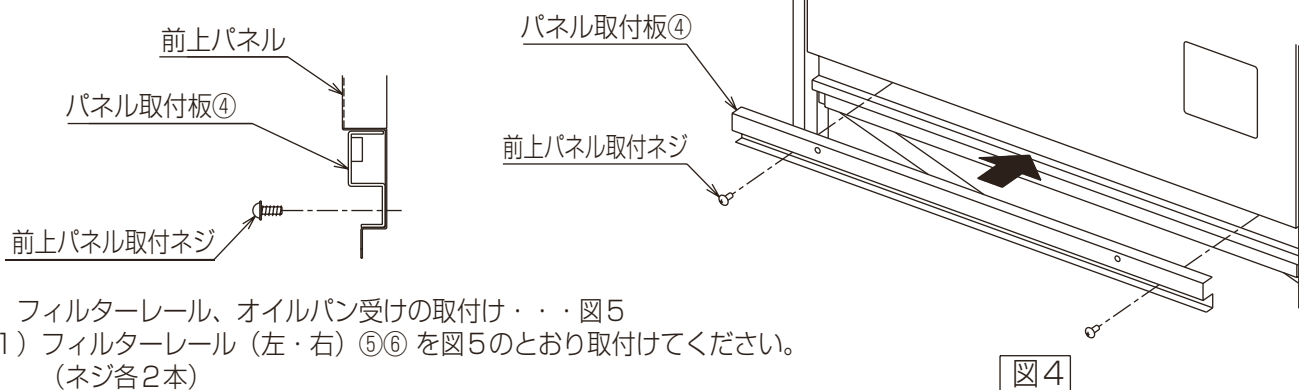
※PAC-CB51・52・53・61・62・63UTBの場合、ゴムブッシュは既に付いていますので、取付け作業は不要です。

- 1) モーター端子箱のカバーを開け（ネジ1本）、モーターリード線を外してください。（ネジ3本）
- 2) ゴムブッシュ⑩をモーター端子箱配線貫通穴に取付けて、1)で取外したモーターリード線、端子箱カバーを元どおり取付けてください。
- 3) シール材⑩を図3のとおり、本体仕切り板に貼付けてください。



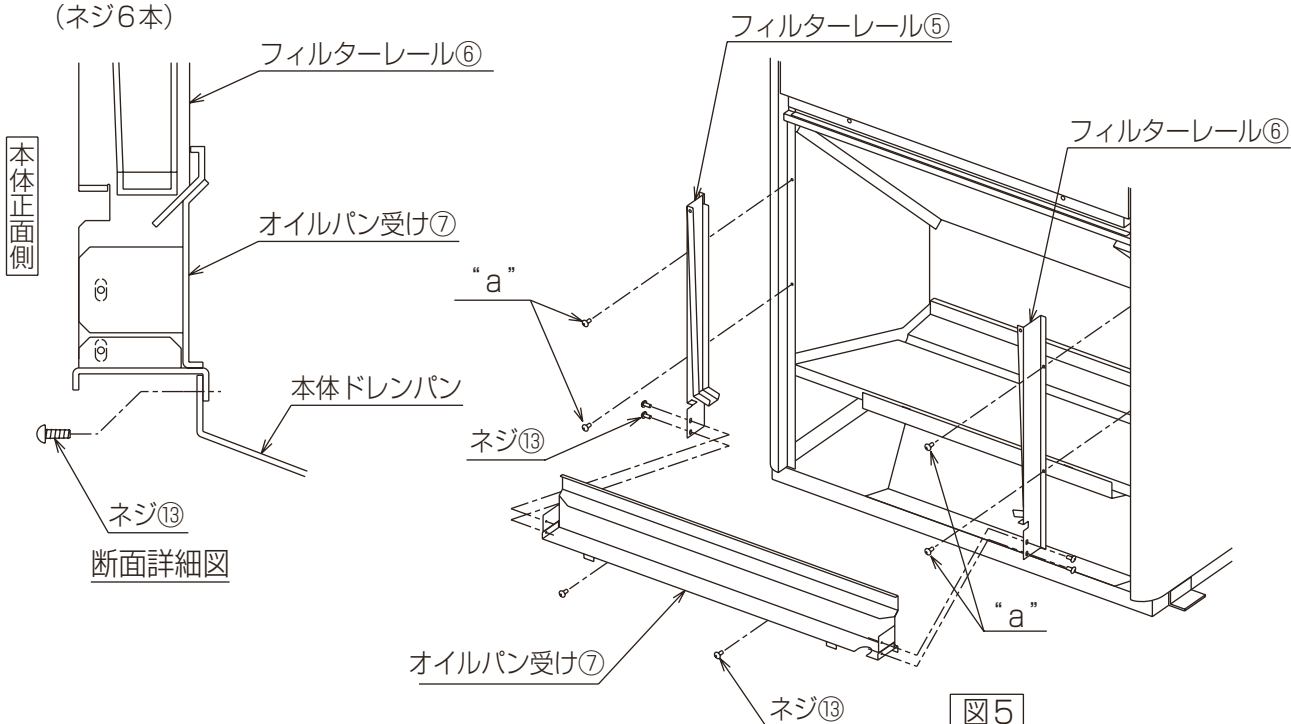
(4) 前上パネル、パネル取付板の取付け・・・図4

- 1) 前上パネルを本体に元どおり本体上部に引っ掛けてください。
- 2) パネル取付板④を図4のとおり前上パネルに取付け、共締めしてください。（ネジ2本）



(5) フィルターレール、オイルパン受けの取付け・・・図5

- 1) フィルターレール（左・右）⑤⑥を図5のとおり取付けてください。（ネジ各2本）
※“a”のネジは本体サイドパネルと柱を固定しているネジを一旦外して、フィルターレール⑤⑥を共締めしてください。
- 2) オイルパン受け⑦をネジ⑬を用いて図5のとおり取付けてください。（ネジ6本）



(6) オイルパン、オイルフィルターの取付け・・・図6

- 1) オイルパン⑧を図6のとおりオイルパン受けの上に取付けてください。
- 2) オイルフィルター⑨を取手が手前上側になるようにフィルターレールに沿って取付けてください。

オイルパンの両端をフィルターレールの切り起こしに引っ掛ける

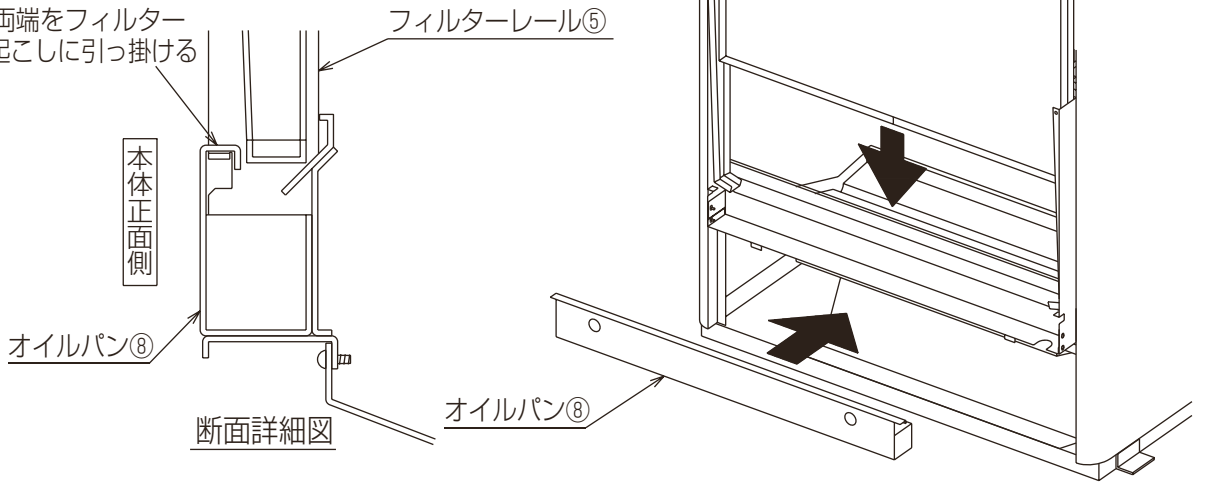
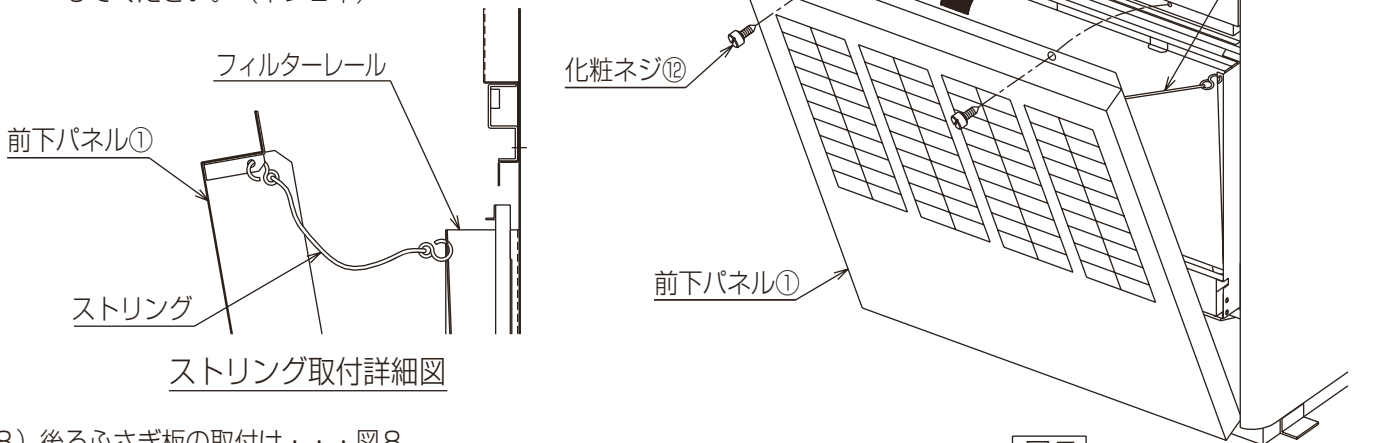


図6

(7) 前下パネルの取付け・・・図7

- 1) 前下パネル①の下部を本体台枠の上ののせ(1)-1)で外したストリングを取付けてください。(詳細図参照)
- 2) 化粧ネジ⑫にて前下パネル①の上部をパネル取付板にネジ止めしてください。(ネジ2本)



ストリング取付詳細図

図7

(8) 後ろふさぎ板の取付け・・・図8

- 1) 本体背面の吸込口に取付けられている後ろ吸込ガードを取外してください。(ネジ3本)
- 2) 後ろふさぎ板②をネジ⑬を用いて取付けてください。(ネジ4本)

・取外した吸込パネル、後ろ吸込ガードは使用しません。
お客様とご相談のうえ、処理してください。

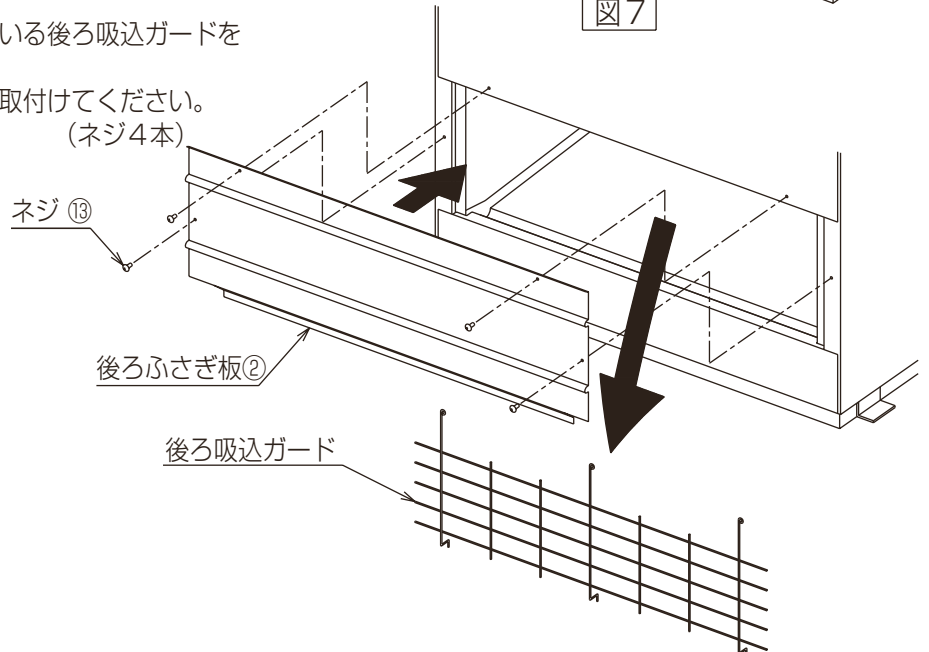
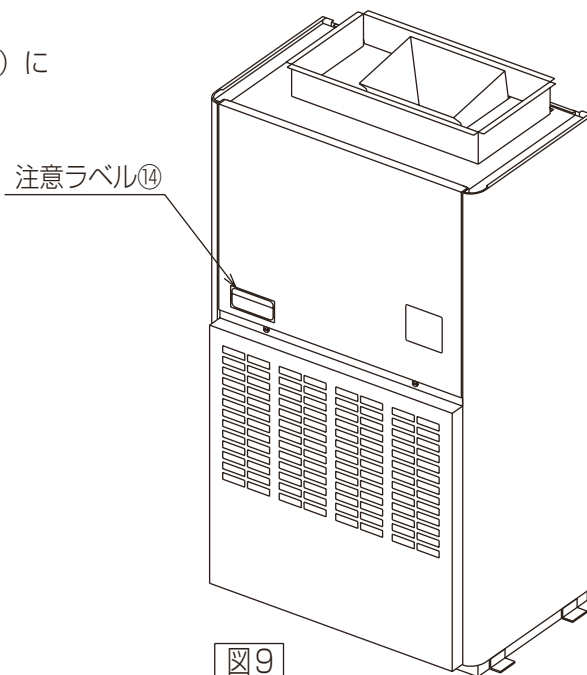


図8

(9) 注意ラベルの貼付け・・・図9

- 1) 注意ラベル⑭を前上パネルの図示の位置（ツマミネジ上部）に貼付けてください。



3. その他

⚠ 警告

火気を近づけないこと。

- ・引火・火災・爆発のおそれあり。



火気禁止

⚠ 注意

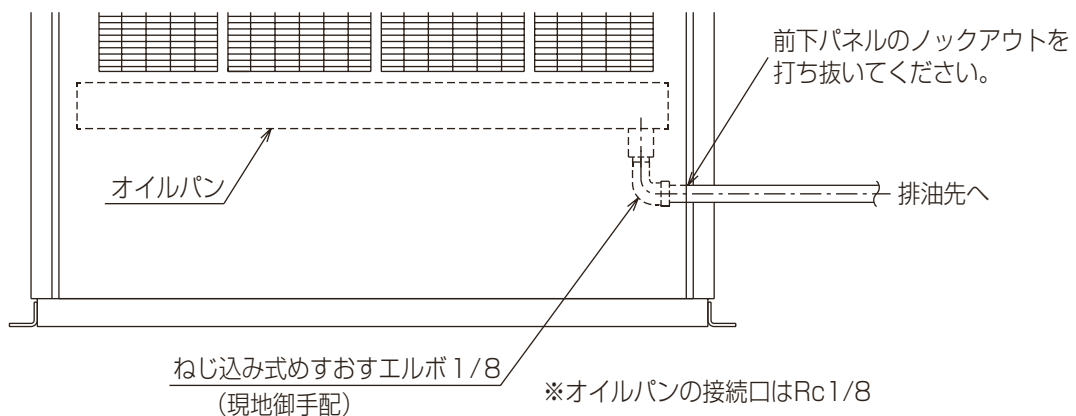
作業するときは保護具を身につけること。

- ・けがのおそれあり。



けが注意

1. 本体に油等の可燃物が付着しますので、発火の原因となるような火元が近づかないようにしてください。引火点温度の低い油環境では使用しないでください。
2. 空調機からのドレン排水には少量の油分があるため、下水処理のある下水に流すか、油分を処理してから排水してください。
3. 油環境下では本体取付けのリモコンを使用することはできません。
リモコンを本体から取外し、油分を含まない環境下に設置する必要があります。
4. 油の種類によっては、加水分解により有機酸（蟻酸・酢酸等）を発生する油があります。
その場合、銅管腐食の原因となりますのでご使用は避けてください。
5. 本ユニットには電気ヒーター、ペーパーパン加湿器、透湿膜加湿器、中・高性能フィルター、HEPAフィルター、後吸込ダクトフランジ、外気取入れフランジの組込みはできません。
発火や腐食の原因となります。
6. 周囲空気中の油ミスト濃度は、 $0.5\text{mg}/\text{m}^3$ 以下でご使用ください。
7. 使い捨て型オイルフィルターの交換周期は、1週間～2カ月を目安としてください。
再生型オイルフィルターの清掃周期は、1回/週を目安としてください。
使用環境、油の濃度・粘度、じんあい量等によって異なりますので早い時期での確認をお願いします。
また、ユニット内部の標準フィルターも同時に清掃してください。
ドレンパン、ドレン管の清掃も合わせて実施しドレン排水性を確認してください。
再生型オイルフィルターを清掃する場合は、ぬるま湯もしくは中性洗剤を混ぜた水に浸け、汚れを落としてください。
8. ユニット内部は油環境下での使用により、通常より汚れが早くなり寿命が短くなることがあります。
熱交換器、ドレンパン、モーター、ファン等、定期的にメンテナンスしてください。
油の付着により、Vベルトのスリップ現象が起こり易くなりますので、プーリー・Vベルトの油除去も実施してください。
9. オイルパンにはオイル抜き管の接続が可能です。
市販のねじ込み式めすおすエルボ $1/8$ (JIS B 2301に準じたもの) をご用意いただきご使用ください。必ずシール材を用いてねじ部をシールしてください。
また、オイル抜き管を接続されない場合は、オイルパンに溜まったオイルがオーバーフローする前に捨ててください。
オイルは前面サービスパネルを開けるとともにオイルパンを前面上方向に引き出してから捨ててください。オイルパンがオーバーフローしますとオイルがユニット前面外部へ流出します。
オイルの量は前面サービスパネルを開けることで確認することができます。



10. オイルフィルターを組込むことにより、機内抵抗が増加します。
技術資料を参照し静風圧部品を選定してください。

ご不明な点がございましたらお客様相談窓口（別紙）にお問い合わせください。

三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)

FAX(365日・24時間受付)

0037(80)2229(フリーボイス)・073(428)-2229(通常FAX)

三菱電機株式会社

〒640-8686 和歌山市手平6-5-66冷熱システム製作所

WT03988X06